

お知らせ②

一般財団法人 北海道開発協会

平成30年度研究助成の選考結果について

一般財団法人 北海道開発協会開発調査総合研究所
所長 草苅 健

当協会では、北海道開発に関する社会科学分野を対象とする平成30年度研究助成を行うため、平成29年10月上旬から30年2月5日までの間、道内の大学等高等教育機関で研究を行っている研究者及び研究グループを対象にして助成研究を募集しました。

17年目にあたる本年度は、道内各地の大学から31件の応募があり、応募された研究のテーマは、まちづくり、地域開発、農村・観光・ICT・教育、医療、福祉、防災などにおよびました。

以上の研究について、去る3月5日、当協会に設けた研究助成選考委員会を開催し厳正な審査を行った結果、次表の8件を選考しました。

なお、平成30年度研究助成の選考にあたった選考委員は次のとおりです。（3月5日現在・敬称略）

座長 梶 井 祥 子	札幌大谷大学社会学部教授
委員 田 村 亨	北海商科大学商学部教授
〃 町 野 和 夫	北海道大学大学院経済学研究院教授
〃 倉 内 公 嘉	国土交通省北海道開発局開発監理部次長

当協会では今後とも本研究助成事業を続けていく予定ですので、毎年度作成する研究助成募集要領をご参考のうえ、意欲的なテーマで応募されることを期待するものです。

平成30年度 研究助成選考結果

(五十音順)

No.	申請者	所 属	助成研究テーマ
1	荒川 溪	北海道大学大学院 公共政策学連携研究部附属公共政策学研究センター 准教授	人口減少時代における自治体の予算編成過程の研究－予算編成の質を高める方策とその効果－
2	上田 裕文	北海道大学 観光学高等研究センター 准教授	北海道における「墓じまい」の現状に関する研究
3	塩崎 大輔	北海道大学大学院 文学研究科 博士後期課程	ICTを援用した津波防災教育システムの開発と実証研究
4	西浦 功	札幌大谷大学 社会学部地域社会学科 准教授	小規模都市のコンパクトシティ化と高齢者の生活支援に関する研究
	松原日出子	松山大学 人文学部社会学科 教授	
5	野村 理恵	北海道大学大学院 工学研究院 助教	北海道の農村集落の維持に資する移動型サービスモデルと生活圏の構築
	森 傑	北海道大学大学院 工学研究院 教授	
	池添 純子	阿南工業高等専門学校 創造技術工学科 助教	
6	武者 加苗	札幌大学 地域共創学群経済学系 教授	北海道内市町村におけるふるさと納税受入額の決定要因分析
7	湯山 英子	北海道大学大学院 経済学研究院 地域経済経営ネットワーク研究センター 研究員	北海道における在留ベトナム人の現状と課題－技能実習生の実態から
	設楽 澄子	一橋大学大学院 社会学研究科 特別研究員	
8	米田 政葉	北海道医療大学大学院 看護福祉学研究科 博士後期課程	北海道民が総活躍できる地域社会づくりに向けたひきこもり予防体制の確立に関する研究
	志渡 晃一	北海道医療大学大学院 看護福祉学研究科 教授	

※所属及び職名は平成30年3月31日現在

共同研究